

広報

ただみ

9

2014 月号

No. 532
平成26年9月10日

只見ユネスコエコパーク
シンポジウムを開催……………2～3
平成26年度 成人式……………4～5
R289フルコース踏破、他……………6～9
町の話……………10～11



今月の表紙

8月15日、明和振興センター前で明和地区の夏の恒例行事となっている盆踊り仮装大会が行われました。この盆踊り仮装大会は数十年間ずっと明和青年団が主催となり行っているイベントで、盆踊りを毎年楽しみにしている地区の人達の為、1ヵ月前から準備や練習をしてこの日を迎えました。



上段

8月3日、町内外から250名が参加したブナ林の保護や地域振興構想などが語られたシンポジウム

下段

8月4日に行われた浅草岳只見沢登山口から只見沢渡河までを散策した自然観察会

只見ユネスコエコパーク 登録記念シンポジウム



自然・文化を守り地域振興につなげる

只見ユネスコエコパークの登録を記念して、8月3日に季の郷湯ら里で只見ユネスコエコパーク登録記念シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、町と只見ユネスコエコパーク推進協議会の主催で、国内外から招かれた行政関係者や有識者が、各地域でのブナ林の保護や活用についての取り組みを紹介し、ブナ林を活用した地域振興策などの意見発表も行われました。

シンポジウムは3部構成で、第1部



▲今後の地域づくりについて考えが述べられたパネルディスカッション

では横浜国立大学教授の松田裕之氏の「ユネスコエコパークと地域振興」と題した記念講演が行われました。第2部では「ブナ林の保護・保全と活用について」というテーマで、北海道や台湾の有識者ら5名が各地域での取り組み事例を発表し、第3部では有識者らに目黒町長を加えパネルディスカッションを行いました。このパネルディスカッションで目黒町長は、ブナ林を散策するための環境整備や人材育成構想などを述べ、その他のパネリストからもブナ林の保全・保護や地域振興についての考えが述べられました。

シンポジウム終了後に行われた祝賀会では、ふるさと交流都市である千葉県柏市の秋山浩保市長から祝辞を頂き、関係者や参加した町民らでエコパーク登録を祝いました。また翌日の4日には、浅草岳山ろく、只見沢のブナ林を散策する自然観察会も行われました。

これまでは登録を目指してきたエコパークですが、これからは自然や文化・伝統を次の世代に継承すると共に、地域経済が発展するような取り組みを行っていく事が重要になると考えさせられたシンポジウムでした。



▲エコパークの登録を皆で祝った祝賀会



▲自然観察会では只見の自然の素晴らしさを肌で感じて頂きました



▲祝賀会で披露された只見の伝統芸能「梁取太々神楽」



▲新成人の皆さん

お盆に二十歳の誓い

平成26年度

成人式

平成26年度の只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者57名のうち41名が出席し新成人としての第一歩を踏み出しました。

目黒町長は式辞で、「新成人の皆さんには只見に生まれ育ったことを誇りに思っ
て欲しい。また、皆さん一人一人がふるさと只見の力になり豊かな町づくりの原動力になつていただきたい。」と述べられました。

成人証書授与では新成人から家族へのメッセージが読み上げられ、「只見に生まれて良かった」「只見を出て、只見の良さを改めて感じた」などふるさと只見を思う気持ちがよく聞かれました。

今年先輩からのメッセージとして、只見町で働く2人の先輩から新成人の皆さんへメッセージが送られ、自分がこれまで経験してきた事からこれからの人生に役立てて欲しいことなどが話されました。

最後に成人者代表謝辞として山内晴夏さんが「成人を迎えることに不安もありましたが、本日皆さんからのお話を胸に刻み、これからも精一杯努力していきたいと思つています。また、悩み迷つた時は只見という素晴らしい故郷の皆さんの力を借り、只見町に少しでも恩返しできるような大人になりたいと思つています。」と謝辞を述べました。



▲謝辞を述べる山内さん



▲会場は久しぶりの再会に笑みがこぼれていました



▲一人一人に渡された家族からの手紙を読む新成人



▲成人証書を受け取る新成人



只見町観光まちづくり協会
黒田 晶子さん

農業
吉津 鉦二さん



先輩からの メッセージ

山登りが好きで色々な山に登ったが、只見の山に登り只見が好きになった。田舎暮らしが昔からの夢ということもあり、5年前に只見に移住してきた。皆さんには当たり前かもしれないが、「ふるさとがある」、「帰る場所がある」、「迎えてくれる仲間がいる」事は素晴らしいこと。若い時に失敗して、悩んで、大きくなっていつか只見に帰って来て下さい。

大学を出てから自分を変えようとインドに行ったり、東京で働いていたが数年前に只見に帰ってきた。トマト農家の方からの誘いで農場で数年お手伝いをし自分もトマト農家をやりたいと考えるようになり、今年から独立してトマトを作り始めた。やりたいことが見つからなくても追い風が吹く時があるのであせらないでほしい。



▲白河市で激励を受け記念撮影

只見高校生一人一人の頑張りで、今年も素晴らしいイベントになりました。

初日の2日は、新潟県庁を出発して、三条市を通り只見町役場に到着。3日は、只見町役場をスタートして、南会津町、白河市を通り夕方はいわき市の勿来の関に無事に到着した。

只見高校生が新潟市からいわき市までの国道289号を自転車で行きました。これは、町の有志で実行委員会をつくり毎年夏休み期間に行っているイベントで、今年で4回目となります。国道289号全線早期開通と、八十里越の周辺環境の保全と活用をPRするため、只見高校1、2年生約30名が猛暑の中、約10キロずつ交代しながら6台の自転車でゴールを目指しました。



▲猛暑にもめげず笑顔で走る高校生

踏破総距離325キロ
第4回 R289フルコース踏破



▲学校で「おりがみ」が人気になったそうです

「2週間の中で一番の思い出は、現地の友達と話した時間。最終日には自分の英語力が上がっていることが実感出来た。この留学で、自分の進路も具体的に考えられるようになってきた。」という感想もち、2人とも充実した2週間を過ごせたようでした。



▲短期留学した齋藤咲希さん(左)と石坂香奈子さん

今回の参加者の齋藤咲希さんは、「イギリスの学校での授業はとても楽しく、とても良い経験になった。異文化交流などして2週間で大きく成長出来た。」石坂香奈子さんは「2週間の中で一番の思い出は、現地の友達と話した時間。最終日には自分の英語力が上がっていることが実感出来た。この留学で、自分の進路も具体的に考えられるようになってきた。」という感想もち、2人とも充実した2週間を過ごせたようでした。

只見高校生2名が
イギリスに2週間の短期留学



▲JR東日本福島支店での講座の様子

ふるさと只見・人材育成講座
高校生が只見を考える

高校生を対象にした「ふるさと只見・人材育成講座」を8月に教育委員会が行いました。講座は、JR東日本福島支店で只見線代行バスの問題点や、乗車率を上げる改善策などを担当者に質問したり、ユネスコエコパークについて町の担当者から説明を受けるなどの内容で、受講者は自分達の住んでいる只見について学び理解を深めました。

只見高校
献血で厚生労働大臣表彰

只見高校は、第50回献血運動推進全国大会で厚生労働大臣表彰団体に選ばれ、7月24日に福島赤十字献血センターで表彰状の贈呈式が行われました。

この表彰は、献血への多大な協力や献血普及のための積極的な取り組みなどで、他の模範となる活動がされた団体などに対して贈られるもので、只見高校の長年にわたる献血協力が認められ受賞したものです。

只見町消防団
福島県消防操法大会で好成績

8月24日、福島市にある福島県消防学校で第39回福島県消防操法大会が開催されました。この大会に南会津地方大会で優勝した只見町消防団がポンプ車操法の部で出場し、この大会のために練習して成果を十分に発揮され、6位の好成績を収めました。

この県大会までの長い間、訓練に取り組まれてきた選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。

荒井原納税貯蓄組合
振興局長感謝状を授与

高い納付率を維持し他の組合の模範にもなっている荒井原納税貯蓄組合（目黒周子組合長）へ8月6日に南会津地方振興局長から優良納税貯蓄組合感謝状が贈呈されました。

納税貯蓄組合は、税金などを計画的に納めることを目的に組織した団体ですが、近年は組合員の高齢化などで解散が増えており、只見町納税貯蓄組合連合会では、組合員の新規加入の呼びかけや、小規模組合の合併の奨励・組合の新規設立を支援しています。



▲横山校長先生(左)と表彰状をもつ渡邊教頭先生



▲訓練の成果を披露



▲町も県民税完納町村知事感謝状を授与しました

柏市と交流20周年を記念して

野球交流大会を開催

柏市と只見町が「ふるさと交流都市」として、今年で20周年を迎えることを記念して8月23日に柏市で交流野球大会を開催しました。

始球式ではピッチャーを目黒町長、バッターを秋山市長が務め、その後、試合を通して交流を深めました。試合後には関係者や参加者から、今後も野球を通して交流をしていきたいという声が上がりました。



▲試合終了後に全員で記念撮影

只見線に乗って

小学生が災害を学ぶ

8月、町内の小学生に豪雨災害についての理解を深めて貰い、自分の生まれ育った町と地域を大切に思う心を養ってもらう事を目的として、只見線を利用した災害学習列車を只見・朝日振興センターが行いました。この事業に参加した小学生は、金山町まで只見線の代行バスに乗り、被災箇所の見学や、金山町役場での状況などを聞き、豪雨災害についての理解を深めました。



▲被災と復興を自分達目で確認

地域の課題解決を探る

町づくり元気塾

8月27日、明和振興センターで東北電力が地域づくり支援事業として実施している「まちづくり元気塾」が行われました。

日本全国の地域を視察し、アドバースなども行なっている講師3名が、明和地区全集落の現地調査を行い、各地域の課題を把握した上で他の地域での具体的な取組みや、講師の方から考える地域のあり方などが話されました。この事業は3回のシリーズで本年度はあと2回行われます。



▲講師の話真剣に聞く参加者

鳥獣被害対策を強化

鳥獣被害対策実施隊

只見町では、鳥獣による農作物被害などを防ぐため、捕獲隊員を従来任命していましたが、さらに鳥獣被害対策実施隊として25名を任命し8月4日に各地区の分隊長に町長室で辞令を交付しました。このことにより、鳥獣被害対策実施隊は町の非常勤職員となり、有害鳥獣の捕獲活動の他に町からの要請により被害地域でのパトロールなどをして、鳥獣による被害の軽減に向け活動していくこととなります。



▲辞令を受けた各地区の分隊長

今年も大学生が 只見で農業体験



▲田んぼでの作業に取り組み学生

昨年から、東京の大学生などが只見町を訪れ、農家でのお手伝いをする代わりにお米を貰う「只見奨学米プロジェクト」が8月29～31日にかけて行われました。

学生達が只見町を訪れるのは春の田植えの時期に続いて今年2回目。田んぼや畑での農作業を手伝ったり、ゲートボールに参加したりと町民との交流も深めました。学生達は秋の稲刈りの時期にまた只見町を訪れる予定となっています。

只見の魅力を 若者たちがCMで発信



▲どの作品も只見の魅力が伝わる素晴らしいCMでした

8月31日、青少年旅行村で只見町で制作されたCMの発表会が行われました。これは「非営利団体 my Japan」が只見町の魅力を発信するCMコンテストを開催し、これに参加した若者7チームの作品が上映されました。

CMは宮城県、長野県でも同じように制作され、この日発表されたCMは修正を重ね9月に東京で行われる最終審査に臨み最優秀作品は1カ月間渋谷のスクランブル交差点で放映されます。

平成26年度産米 全袋放射性物質検査について

昨年、農家の皆様のご協力のもと実施しました米の全袋放射性物質検査を、今年も行います。

検査対象となるのは、昨年同様、出荷・販売米だけでなく、自家消費米、親戚等に配る縁故米、飼料用米、加工用米、酒米、くず米など、全ての米が対象となり、検査場所も、福井の朝日建設(株)倉庫検査場になります。

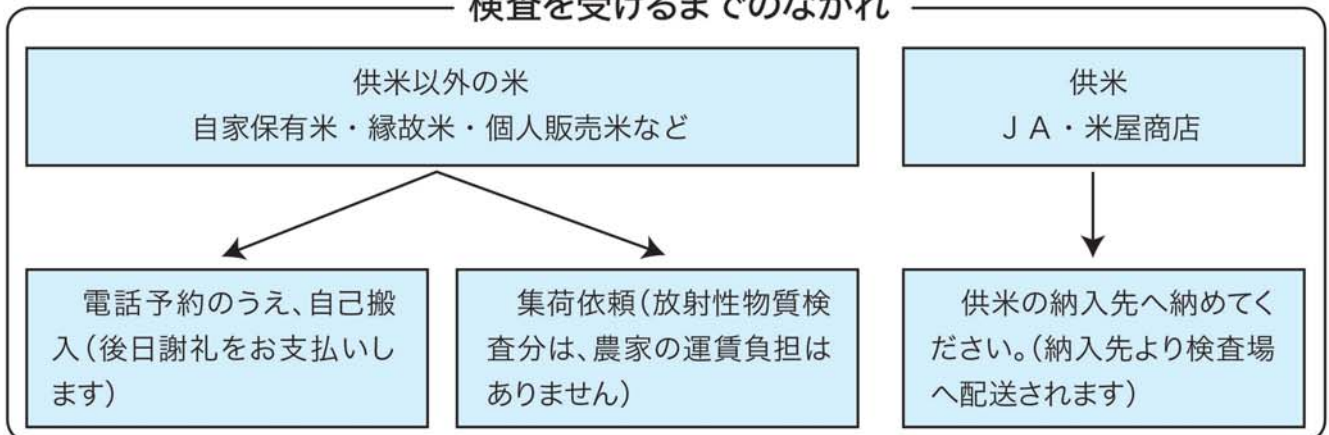
検査の進め方は、供米はJAまたは米屋商店へ一度納めて頂いた後、各業者より検査場へ運ばれます。供米以外の米は、電話にて検査予約を頂いたうえで自己搬入、または集荷依頼をして頂くこととなります。集荷依頼をされる場合は、永井運送(株)に順次集荷に回って頂きますが、米の全袋検査に関する部分に限り、運賃負担は生じません。ただし、混雑時には3日～4日ほどお待ち頂くことがあります。ご協力願います。

米の全袋放射性物質検査を進めるため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

〈問合せ〉 産業振興課農林班

☎ 82-5230

検査を受けるまでのながれ





▲八十里越を歩いた参加者と自衛隊員の皆さん

八 陸上自衛隊も参加 八十里越を町民ら40名が踏破

只見町と新潟県を結ぶ峠道を歩く「八十里越フルコース踏破行」が、7月27日に町内の有志でつくる実行委委員会の主催で行われました。これは新潟・福島豪雨から3年の節目に合わせ、災害復旧に尽力された自衛隊員に感謝するとともに、只見ユネスコエコパークの登録を記念し企画されたもので、

町内外から参加した20名と陸上自衛隊郡山駐屯地の隊員ら20名が只見の自然の美しさと防災の大切さを感じながら22キロの峠道を10時間以上かけて歩き、目的地の三条市下田の吉ヶ原へ無事到着しました。



▲団体戦優勝を記念に1枚

只 第47回全会津少年剣道大会 只見剣道スポーツ少年団が 今年も好成績

シモン旗・会津坂下剣友会長杯争奪「第47回全会津少年剣道大会」が7月27日会津坂下町で開催され、会津地方の小学生剣士205名が出場しました。男女ごとに団体戦と個人戦が行われたこの大会で只見剣道スポーツ少年団は女子団体1部で昨年に引き続き優勝する素晴らしい成績をおさめました。

○団体戦	○個人戦
女子1部 優勝	女子6年生の部
先鋒 馬場 菊	第3位
中堅 馬場 遊茶	堀金 楓樺
大将 堀金 楓樺	

只 景観美化のために 只見第3老人クラブが花壇観賞会

8月20日、只見開発センター前の駐車場で只見第3老人クラブが花壇観賞会を行いました。これは只見第3老人クラブが自分たちの住む地域を美しくしようと数十年前から毎年花壇に花を植えており、花が一番きれいに咲いた時期に皆が集まって観賞会をしています。



▲今年も花壇は綺麗な花でいっぱいになりました

「じねんと」NPO法人こまどり会 に783,981円を寄附

NPO法人こまどり会が今年解散し、解散時に残った資金783,981円を社会福祉法人南陽会只見町地域活動支援センター「じねんと」に利活用して欲しいと全額寄付することとなり、8月6日にこまどり会の渡部敏彦さんから社会福祉協議会の五十嵐辰男会長へ目録が手渡されました。



▲目録を手渡す渡部敏彦さん(左)

久 只見地区で しぶりの盆踊り

8月14・15日の2日間にわたり只見地区納涼盆踊り大会が約5年ぶりに沖下駐車場で行われました。これは、盆踊り再興・実行委員会が主催となり、祭りでは只見小学校なんでもチャレンジ隊と中学生によるおはやしが披露されるなどして、お盆の帰省客など400名以上が来場し楽しいひと時を過ごしました。



▲来場者は久しぶりの盆踊りを楽しみました

本 3地区の保育所児童 格的なダンスを踊る

7月29日、朝日振興センターでダンス教室が行われました。これは、日本ストリートダンススタジオ協会が、保育所でのダンスレッスンにプロのインストラクターを派遣しダンスレッスンを行う事業で、3地区保育所の年長・年中さんが、プロの方から本格的なダンスレッスンを受け楽しく踊りました。



▲年長さんはすぐにダンス覚え踊っていました

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 若山 隆



「今年から定期接種になる水痘ワクチンってなに？」

8月も過ぎ、只見町もずいぶん涼しくなってきました。季節の変わり目に体を冷やして風邪をひかないように注意してください。

今回は、平成26年10月1日から、定期接種ワクチンとして認められる水痘ワクチンについてのお話です。他にも65歳以上の方を対象とした肺炎球菌ワクチンも定期接種ワクチンになりますが、今回は触れません。

水痘ワクチンはこれまで任意接種ワクチンとして受けることができましたが、定期接種ワクチンになることで多くの自治体で無料になる見込みです。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、ウイルスによって引き起こされる皮膚にできものができる病気です。主に小児にかかる病気で、9歳以下でかかる割合が90%以上を占め、重症になると熱性けいれん、肺炎などを合併します。日本では年間100万人以上がかかり、4000人程度が入院、20人程度が死亡するとされています。ワクチンを接種することで重症の水痘をほぼ100%予防できると考えられています。

接種対象者は以下の方です。

①1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの小児

2回の接種を行うこととなり、1回目の接種は生後12か月から生後15 か月までに行い、2回目の接種は1回目の接種から3か月以上経過してから行います。

また、平成26年10月1日から平成27年3月31日までの間に限って、

②3歳の誕生日当日から5歳の誕生日の前日までの小児もワクチンを受けることができます。②の方はワクチン接種を1回受けられます。

これまで、水痘ワクチンを1回しか受けていない5歳未満の小児は、この時期にぜひ2回目を受けることをお勧めします。1回のみでのワクチン接種では10～20%の方で水痘にかかってしまう恐れがあるためです。

水痘にすでにかかってしまったお子さんは、すでに免疫を獲得しているのでワクチンを受ける必要はありませんが、そうでない場合は保健福祉センターからの案内を待ってワクチンを受けるようにしてください。



新しいALT(外国語指助手)としてジェニファー先生が来日!!



ジェニファー ブルームフィールド

■ Jenifer・Bloomfield

イギリス ウェストサセックス出身

1年間子ども達に英語を教えてくれたキャサリン先生が帰国され、新しいALTとして8月にジェニファー先生が只見に来られました。

ジェニファー先生は日本に来る前は大学で歴史を学んでおり、ボランティア活動としてネパールで子どもたちに英語も教えていました。趣味はピアノですが走ることも好きで、イギリスではキックボクシングをやるなど身体を動かす事が好きなようです。故郷が平地なので只見の山々に驚いたそうですが、只見町の美しい自然環境がとても好きになったとの事。たくさん日本食を食べて、スノーボードや剣道もやってみたいという活動的なジェニファー先生をよろしくお願ひします。



▲早速只見の盆踊りに参加しました

只見の歴史を探る⑤

速報！

宮前遺跡発掘調査

今年六月から役場新庁舎の建設予定地となる旧只見中学校の校庭で発掘調査をしています。ここは宮前遺跡と呼ばれている遺跡地で、『図説会津只見の歴史』や『只見町史』『只見学ガイドブック』にも掲載されています。いままでに首飾りにする管玉や小玉が発見されていて、約一三〇〇〜一七〇〇年前の古墳時代の遺跡の可能性があるとされてきました。昨年度行った試掘調査で遺構(昔の痕跡)や遺物(土器や石器など)が発見されたことよって、今年度から本格的な発掘調査が始まりました。

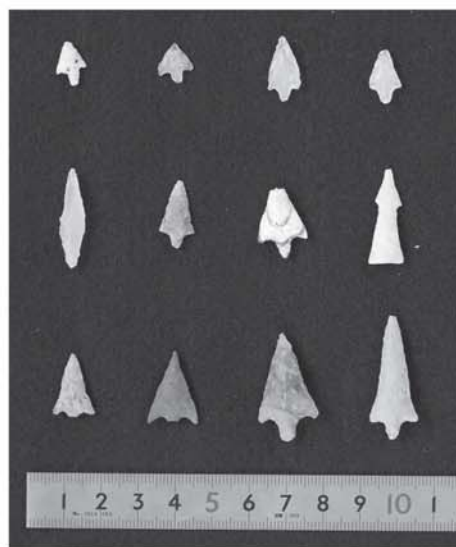
▲ 宮前遺跡の発掘現場

▲ 宮前遺跡の発掘現場

▲ 宮前遺跡の発掘現場

と考えられます。遺構では、縄文時代晩期から弥生時代前期と推定できる土坑がたくさん見つかりました。土坑とは、柱穴よりも大きく、使用用途が見極めにくい穴のことです。小さいもので長径八〇cm、短径六〇cm、大きいものでは長径二〇〇cm以上、短径一〇〇cm以上のものも確認しています。深さは、もつとも深いもので一五〇cmもありました。残念ながら住居跡は確認していません。また、明治期と考えられる水田跡を確認しました。

遺物の特徴としては、石器類がたくさん出土することです。石鏃(ヤジリ)：弓矢の先に付ける道具)や打製石斧(磨いていない欠いただけの斧)、磨製石斧(磨いてある斧)、石槍(ヤリ)、石錐(キリ)：穴をあける道具)、磨石(木の实などを磨りつぶす道具)、黒曜石(広報只見五月号参照)、平玉(首飾りにするもの)などが発見されました。ヤジリについては、玉髓と呼ばれる白く透明な石材を使っているものが非常に多く出土しました。お



▲ 多量に発掘された石鏃

そらく伊南川や只見川で採取した石材と考えられます。ヤジリの大きさもさまざまで、一番小さいもので長さ三mmくらいしかないものもあります。平玉については、ヒスイ製と考えられるものが四点あり、新潟県から流通したのではないかと考えられます。平玉が出土するということは、お墓などの副葬品の可能性が考えられ、近くに墓域(お墓の集まった場所)がある可能性もあります。遺物がたくさん出土するということは、それだけ大きな集

落があつたと考えられます。現在、発掘調査している場所に住居跡は確認していませんが、周辺には居住域があると推定されます。また、石器が多く出土することから、石器工房のようなものが存在するのかもしれない。黒曜石については科学分析を行えば、流通経路がわかると思います。

▲ 宮前遺跡は降雪前まで発掘調査をする予定です。見学は随時受け付けますので、ぜひ見学に来てください。

町民文芸



只見短歌会

七月詠草

大塚栄一

指導

母逝きし孫のひと声がわれの身も心も共に癒やしてくれつ

五十嵐夏美

手入れせぬ山の続きの庭なれど好みし所に花は咲きつぐ

小倉キミ子

奥山の寺に飼犬の亡骸を抱きて行くに雷鳴激し

古川 英子

日の長くなれば夕餉の時間ずれ明るきうちには腹も空かざる

新国由紀子

ふくよかにあやめ咲き揃ふ池の辺を梅雨の晴れ間にしばし見とれる

馬場 八智

青き稲なびく田の面を白鳥の番ひの二羽か飛び立ちてゆく

渡部ゆき子

古希過ぎて幾年ならむか家事雑事片手間ならずひと仕事なり

関谷登美子

買ひしまま忘れて来たる品物は店主の添書付けて届きし

目黒 富子

亡き父の命日も忘るる程早き時の流れに日捲りはがす

渡部ヨリ子

家族らを支へてくれしこの家も五十年経て白蟻多し

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

八月例会

目黒十一

指導

山百合のゆらぎは茶毘の炎のように
平成の今に八月十五日

恒夫

水子仏の供物あまたや花千草
両持のゴーヤぶらりと残暑かな

吉児

コーヒーの香る別荘梅雨明くる
新涼や朝のバイクを響かせて

礼

紋白蝶つかずはなれず水の音
七夕や受箱のぞく休刊日

邦男

幼子を抱きて泣かすサングラス
螢火やいまなお残る炭坑の跡

順子

水割りの旨い季節や夏の宵
白球に球児の夢のせ夏来る

信

腰強き冷麺する旅の宿
山の水そそぐバケツや桃浮ぶ

修一

万緑や齢にたじろぐ時ありて
荒れし田や野苧蒲の株すくと立ち

リウコ

函館の夜景や天の川いずこ
団扇などいらぬ世に馴れ大胡坐

一穂

ふり仰ぐ立木観音風薫る
水掴みして水遊ぶ歩かぬ子

都

翡翠の声の近くに朝仕事
我が肩に止まるか幼な黄鶴鴿

敦子

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係	財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係		☎ 82-5210 ☎ 82-5050
町民生活課 税務係 町民係		☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係		☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係		☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係		☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係		☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室 議会事務局		☎ 82-5120 ☎ 82-5300
農業委員会 教育委員会		☎ 82-5230 ☎ 82-5320
学校給食センター 只見保育所 朝日保育所 明和保育所 朝日診療所 (歯科) 訪問看護ステーション		☎ 84-7180 ☎ 82-2219 ☎ 84-2038 ☎ 86-2249 ☎ 84-2221 ☎ 84-2612 ☎ 84-2130
こぶし苑 只見振興センター 朝日振興センター 明和振興センター		☎ 84-2101 ☎ 82-2141 ☎ 84-2111 ☎ 86-2111

税 今月の納期

9月25日までに
納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)

RECRUITMENT

会津地域 若者サポートステーション

仕事に就くことへの不安があるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せないでいる、15〜39歳までの若者や、そのことに関して心配しているご家族に気軽ににご相談いただける就労支援施設です。

株式会社リクルートホールディングスからプログラムの提供を受け実施します。

※「ホンキの就職」

株式会社リクルートホールディングスからプログラムの提供を受け実施します。

女性相談員が対応します

女性のための相談窓口 女性相談員が対応します

県では、女性が抱えるさまざまな相談を受け付けています。

女性相談員があなたと一緒に、問題解決のお手伝いを行います。

(公財)福島県文化振興財団 助成事業の申請受付について

対象事業

県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動

10月1日から7日は「公証週間」です。遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができま

公証週間について

また、10月初旬〜中旬にかけて、内定を獲得する力を身につけるためのプログラム、『ホンキの就職』を実施します。就職に必要な知識や姿勢を身に付け、面接練習を通して「自己PR」や「志望動機」を伝えるコツを学び、応募

活動に活かしてみませんか。お申込みは9月30日(火)までで、定員になり次第、締め切りとなります。

対象者

参加費

日時

場所

問合せ先

サポートステーション

対象者…就職活動に向かう方

参加費…無料

日時…10月3日、7日、10日、15日の4日間

場所…みとみ学園本校
2階セミナールーム

問合せ先
会津地域若者
サポートステーション

☎ 02442(32) 0011

対象者

参加事業、文化財の保護事業
など

申込期間
平成26年12月1日から
平成27年3月31日まで

申込方法
所定の申請書に記入の上、只見町教育委員会の窓口へ

申込期限

平成26年10月31日(金)

問合せ先

只見町教育委員会

問合せ先

☎ 825320

問合せ先

会津若松公証役場

問合せ先

☎ 02442(37) 1955

町長の手帳

町長スケジュール (8月分)

- 1日 福島県町村会役員会・町村会要望活動(福島市)
- 2日 R289フルコース踏破出迎え
- 3日 R289フルコース踏査応援、只見ユネスコエコパーク登録記念シンポジウム・祝賀会
- 4日 有害鳥獣駆除隊辞令交付式、職員互助会理事会
- 5日 職員辞令交付、県知事との昼食会並びに意見交換会(南会津町)
- 6日 県民税完納感謝状贈呈式
- 7日 南会津地方市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)
- 8日 只見・金山・昭和県道改修促進期成同盟会総会、消防操法県大会出場披露・激励会
- 10日 只見川電源流域管内町村長情報交歓会(柳津町)
- 11日 只見町議会8月会議
- 12日 ふくしまからはじめよう「食」と「ふるさと」新生運動南会津地方推進本部総会(南会津町)
- 15日 只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 18日 JR只見線に関する地元説明会
- 19日 国道289号線建設期成同盟会要望活動(新潟県内)
- 20日 南会津会評議員会・理事会(南会津町)
- 21日 会津ただみ振興公社取締役会
- 22日 海外短期留学報告会
- 23日 ふるさと交流都市20周年記念事業(柏市)
- 24日 福島県消防操法大会(福島市)
- 25日 南会津地方環境衛生組合定例会、南会津広域市町村圏組合定例会(南会津町)
- 26日 日本政府観光局理事との懇親会(会津若松市)
- 27日 県道小林館ノ川線改良促進期成同盟会総会、只見町防災会議・国民保護協議会
- 28日 赤字ローカル線を支援する議員連盟総会、会総協・国並びに国会議員への要望活動、国会議員との懇親会(東京)
- 30日 自然首都・只見展(会津若松市)、奥ロックフェスタ(三島町)

「新成人へのメッセージ」

今年はギラギラした真夏の太陽が照りつける日も少なく、お盆も過ぎ夏が終わろうとしています。前線の停滞と台風は広島市で多くの人命を奪う土砂災害を引き起こし、あらためて防災対策の難しさを考えさせられました。

近年の異常気象は、環境を無視した飽くなき成長を求める経済活動が影響しています。人間社会と自然の共生を目指した地域づくりを目指す只見町。自然の恵みに感謝しながらもその脅威を決してあなどってはいけないのです。

今年は41名の若者が成人式に参加しました。新成人は高校卒業から2年で大きく成長し、躍動感に溢れていました。式では2人の先輩から新成人へメッセージが送られ、生きる場所を見つけるまでの心の葛藤、悩みを淡々と語ってくれました。自分の生き方、やりたい仕事、人間関係など自分の居場所が見えてくるまでには、誰しもが時間がかかります。様々な経験を通して2人は只見で生きる事を決め、只見だからこそできること、夢を追い求めていきと言ひ、「自分自身に中途半端な気持ちで妥協したり諦めたりしないで頑張ってください」と先輩からの励ましは、新成人の心に刻まれ、このメッセージは私達大人にとっても大変感動的なものでした。

只見町長 目黒 吉久



やまうち こうき
山内 孝輝くん(小林)



おおたわら さな
太田原 彩那さん(大倉)



さんべい みすき
三瓶 瑞貴くん(樫戸)

虫
な
歯
いの
子



(8月5日)
(3歳児健診)

町民の消息

(8月1日～8月31日届出分) 敬称略

■おくやみ申し上げます

目黒もとゑ	92歳	只見
齋藤芳昌	88歳	亀岡
飯塚富恵	81歳	坂田
吉津好雄	81歳	長浜
目黒佐平	91歳	塩ノ岐
渡部等	72歳	福井
馬場ゆきえ	58歳	蒲生

人のうごき

平成26年8月1日現在

人口	4,581 (+6)
男	2,227 (+3)
女	2,354 (+3)
世帯数	1,809 (+1)
高齢化率	43.2%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 4 出生 4 死亡 4

あとがき
▽表紙の明和青年団の盆踊り大会は、数十年前からずっと続いており、これは青年団を卒業する人が次の世代にしっかりとバトンタッチをしているから長い間盆踊り大会を行う事ができてくるのだと思います。今は青年団の人数も少なくなってきたのでイベントを行う事は難しくなっているとは思いますが、盆踊りには本当に多くの方が集まり、夏の恒例行事として楽しみにしている事を取材をしていて感じました。なんとか頑張つて今後も盆踊り大会を開催して欲しいものです。

(吉津)

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター
三瓶 美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★大人の流儀



著 伊集院静
(講談社)

「大好きな人に手紙を書きなくなったとき」「上司に意見をしなければならぬとき」「人を叱らなければならぬとき」「大切な人を失ってしまったとき」「嫌でもケンカをしなければならぬとき」「とてつもない悲しみに包まれたとき」……。

こんなとき、大人ならどう考え、どう振舞うべきか。
「本物の大人」になりたいひとに捧げる大切な一冊です。

★これはのみのびこ



作 谷川俊太郎
絵 和田誠
(サンリード)

『これはのみのびこ』にはじまるみごと言葉あそび。人と物をつないでゆく楽しい言葉のリズムと、しゃれた絵の展開とで笑わせる人気絵本。

声に出して読むと楽しい! 大人も子どもも楽しめます。
読み聞かせにもおすすめの絵本です。

☆その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。
リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

ハクビシン

(学名: *Paguma larvata*)

[ジャコウネコ科 ハクビシン属]



ハクビシンは、台湾から東南アジアに生息しており、日本では南東北から中部地方、四国を中心に分布していますが、年々分布を広げほぼ全国で確認されています。日本に生息するハクビシンは、人の手によって持ちこまれた移入種であるとする考え方もありますが、江戸時代の書物に雷獣としてハクビシンが描かれていることから本来日本に生息していたとする見方もあります。

ハクビシンは、体重が2~5kg、頭胴長が45~55cmとネコほどの大きさです。しかし、尾は太く、長さは35~45cmと胴と同じくらいあります。額から鼻にかけて伸びた太い白線が大きな特徴で「白鼻芯」と名付けられたということです。丸く大きな目と耳、細く伸びた鼻先、丸い胴に短い足、小さな丸い足先をしています。かわいい顔に似合わない、鋭く長い牙を備えています。夜行性で、木登りが得意であり、電線の上を上手に歩くことができます。果実を好みますが、雑食性で鳥や哺乳類、昆虫類、甲殻類なども食べます。畑のトウモロコシやブドウなどの果実を食べること、天井裏に住み着く習性があることから問題になることもあります。

只見町では、1965年代から目撃記録がありますが、当時は目撃例が少なく、この20年間で急に増えてきたと考えられています。現在では、町内全域で確認されており、寺社などに住み着いている例も確認されています。山地にも生息しますが、人里を好む人の身近に暮らす野生動物です。

〈企画展示〉

「ユネスコエコパークが描く只見の未来」

期 間 7月26日(土)~10月13日(月)まで

ブナセンター講座

「南アルプスユネスコエコパークの概要と将来への展望」

9月27日(土)午後1時30分~午後3時

講 師 増澤武弘氏(静岡大学理学部特任教授)

自然観察会

「沼の平のブナ林を歩く」要予約

9月28日(日)午前9時~午後3時(集合 午前9時ブナセンター)

予約・問い合わせ先: 只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

市町村対抗野球 只見の初戦は9月14日!!

第8回市町村対抗野球に今年も只見町チームが出場します。

今年のチームは「一戦必勝でベスト8を目指す」という目標を掲げ、町内の野球チームなどから選りすぐった21名で大会に臨みます。

只見町の初戦は国見町と9月14日(日)福島市のあづま球場で午後1時から試合が開始される予定ですので、皆さん応援をよろしくをお願いします。



▲市町村対抗野球での活躍を誓う選手の皆さん